

# 平成27年度 学校法人 今川学園 事業報告書

## 1、法人の概要

①名称：学校法人 今川学園 【昭和45年11月26日設立】

②住所：大阪府松原市天美北3-10-18  
電話番号 072-337-1580  
ファックス 07-336-3843  
ホームページ <http://www.KONOMI-k.ed.jp>

③設置する学校：木の実幼稚園  
定員480名  
実員351名 (平成26年度 340名)

④理事長氏名：今川公平  
\*理事7名 評議員15名 監事2名 定例理事会年2回開催

⑤教職員の状況  
木の実幼稚園：教員27名(非常勤1名) 職員6名(派遣5名)  
平成27年度新規採用者5名  
平成26年度 退職者4名

## 2、平成27年度 木の実幼稚園の概要

### ①定員、学年、実員内訳、学級数

定員480名	平成27年	幼稚園児実員351名		
	3歳児	6クラス	120名	前年度110名
	4歳児	6クラス	118名	前年度114名
	5歳児	4クラス	113名	前年度114名
	未就園児クラス		58名	前年度 50名
	総合計		411名	前年度390名

### ②教育目標及び方針

#### 【教育目標】

#### a, 生活指導上の基本目標

- ・あいさつが出来る。
- ・感謝の気持ちが持てる。
- ・けじめがつけられる。
- ・自分のことは自分で出来る。
- ・友達のことも思いやる事が出来る。

#### b, 表現活動を通して、豊かな「感性」と「心」を育てる。

～造形、音楽、言葉による表現活動を通して、感じたことを素直に表現し、  
喜ぶ心を育てる。

c, 自分で考え、行動できる子供に育てる。

～いろいろな事柄、現象に興味を持ち、「何故」「どうして」「どうなるだろう」と考えられる力を育てる。

d, 友達と積極的に遊び、いろいろな遊びの工夫出来る子に育てる。

e, いろいろな遊びを通して、健康な心身を育てる。

#### 【保育方針】

a, 日々の「遊び」を子ども自らが見つけ、広げ、熱中できるような、「確かな援助」と「環境作り」を保育の基本とする。

b, 「子ども一人一人の心情と思いを大切に」し、共に喜び、感じ合える人間関係をみんなで作り上げていく。

c, 子どもそれぞれの表現を知り、価値を認め、子どもの表現を保育の中に生かす。

d, 日々の遊びの中で確かな「自由感～ああもしてみよう、こうもしてみよう」「達成感～こんなことできたよ」が身につくよう、常に子ども一人一人をしっかりと見守る。

e, 様々な「もの」や「自然」と出会い、感じ、確かめ、遊びに取り込める環境作りを行う。

f, コーナー活動と全体活動それぞれの良さを生かし、互いに深くかかわる保育を作りあげて行く。

g, 保育者が活動を一方的に与えるのではなく、子どもと共に活動を見つけ、子どもと共に「生活を作り上げて行く」。

◇保育のモットー「誉めて育てる～誉める時は大きな声で、叱る時は小さな声で」 「子ども一人一人をしっかりと受け入れよ」

#### ③保育時間

- 月曜日～金曜日 Aグループ 9:10～13:40  
Bグループ 10:10～14:40
- 土曜日 月1～2回の親子の集い

#### ④保育料及び諸経費

- 保育料：1, 2年保育～26, 400円/月 3年保育～27, 400円/月  
～共に給食費4, 400円を含む。
- バス協力費：4, 000円/月

#### ⑤入園時の費用

- 入園料：1, 2年保育～40, 000円 3年保育～50, 000円
- 設備協力費：20, 000円

## ⑥預かり保育

- 月～金曜日：13：40～17：00
- 夏休み及び冬休み中の預かり保育を年間20日間実施

## ⑦行事の実施状況

- 4月／入園式、始業式
- 5月／創立記念日、身体計測、個人懇談会、春の遠足、防犯訓練
- 6月／プール開き、参観日、耳鼻検診、視力検査、内科検診
- 7月／七夕祭り、終業式、夏季保育、夏季特別預かり保育
- 8月／夏休み、地蔵祭り、夏季保育、宿泊保育
- 9月／始業式、参観日、火災避難訓練、移動動物園3回、入園説明会
- 10月／運動会、参観日
- 11月／秋の遠足
- 12月／音楽発表会、個人懇談会、クリスマス会、終業式
- 1月／始業式、防災訓練、参観日、身体計測、歯科検診
- 2月／節分、造形展、入園説明会
- 3月／雛祭り、お別れ遠足、卒園式、参観日、終業式

## ⑧実施した主な事業の概要

- ・教員研修の中で、保育の日課の内容見直しと検討、プロジェクト保育の実践発表、通年での子供の育ちと経験の関係性の評価などを実施した。
- ・遊戯室前通路 雨除けテントの大型化工事を実施した。
- ・保育室北および西棟1階、2階の内装木部部分の改修、塗り替え工事を実施した。
- ・保育室内玩具、教材の総点検と補充を行った。

## 3、財務の概要

園児数は3歳児以上で前年度比プラス13名、2歳児未就園児クラスでプラス8名を数えることが出来、大阪府よりの経常費補助金も毎年マイナス2パーセント減の方針が撤回され、過去最高額7,033万の補助金を獲得できた。これにより27年度の消費収支はオーストラリアからの顧問料収入を除外しても、前年度よりかなり改善され、貸借対照表に示されている通り、現預金は前年度比プラス940万円確保出来る結果となった。

園児数の一定数維持は、何より経営状態の安定と改善に資するものであるが、預かり保育の時間や期間延長など、保育所的な要素を加えない中での園児数の増加の状態は、改めて良質な幼児教育に対する保護者の要望の現れと考えられる。今後の幼児数の減少傾向の中でどこまで維持できるか見通しに楽観はできないが、教育環境の一層の整備、質の高いカリキュラムの提供、よくトレーニングされた、良質な教員の確保等に一層注力していく必要がある。

今後は、良質な教員確保のための待遇改善、大型遊具等の新規導入などの教育環境への一層の投資の為、現行の二段階式の保育料の見直し、借入金の繰り上げ返済等による収支の一層の改善の検討が必要と思われる。